

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重 g	出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2} kg	母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	1 洞不全症候群	細分類病名	1 洞不全症候群
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [※] (I ・ II ・ III ・ IV) ※小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [※]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上：三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上：肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [※]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 72		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)				
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
大分類病名	1	洞不全症候群		細分類病名	1	洞不全症候群	
5. 今後の療方針							
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>							
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()						
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明						
治療見込期間	入院	年 月 日 から 年 月 日 まで					
	通院	年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)					
<p>上記の通り診断します。</p> <p style="text-align: center;">医療機関名 および 所在地</p> <p>平成 年 月 日 医師名 科 印</p> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>							

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	2 モビッツ (Mobitz) 2型ブロック	細分類病名	2	モビッツ (Mobitz) 2型ブロック	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		94		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	2	モビッツ (Mobitz) 2型ブロック			細分類病名	2	モビッツ (Mobitz) 2型ブロック														
5. 今後の療法方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																					
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																				
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	3 完全房室ブロック	細分類病名	3 完全房室ブロック		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		9	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	3	完全房室ブロック		細分類病名	3	完全房室ブロック														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名	科	印														
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	4 脚ブロック	細分類病名	4 脚ブロック		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった検査結果 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 13		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	平成	年	月	日 (満 歳)												
大分類病名	4 脚ブロック	細分類病名	4 脚ブロック																
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	5 多源性心室期外収縮	細分類病名	5 多源性心室期外収縮		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		67		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	5	多源性心室期外収縮			細分類病名	5	多源性心室期外収縮														
5. 今後の療法方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																					
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																				
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	6 上室頻拍	細分類病名	6	上室頻拍 (WPW症候群によるものに限る。)	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 26		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	6	上室頻拍		細分類病名	6	上室頻拍 (WPW症候群によるものに限る。)													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	6 上室頻拍	細分類病名	7 多源性心房頻拍		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 27		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	6	上室頻拍		細分類病名	7	多源性心房頻拍													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	6 上室頻拍	細分類病名	8 6及び7に掲げるもののほか、上室頻拍
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
大分類病名	6 上室頻拍	細分類病名	8	6及び7に掲げるもののほか、上室頻拍	

5. 今後の療法方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 医療機関名 および 所在地 </div>									
平成	年	月	日	医師名	科 印				
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	7 心室頻拍	細分類病名	9	ベラパミル感受性心室頻拍	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった
 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 33		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	7	心室頻拍		細分類病名	9	ベラパミル感受性心室頻拍													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	7 心室頻拍	細分類病名	10	カテコラミン誘発多形性心室頻拍	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)		
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)
大分類病名	7 心室頻拍	細分類病名	10	カテコラミン誘発多形性心室頻拍

5. 今後の療方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)

就学・就労 1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部)
 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む)
 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()

現状評価 一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能
 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明

治療見込期間 入院 年 月 日 から 年 月 日 まで
 通院 年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)

上記の通り診断します。 医療機関名
 および
 所在地
 平成 年 月 日 医師名 科 印
 小児慢性特定疾病指定医番号

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	7 心室頻拍	細分類病名	11 9及び10に掲げるもののほか、心室頻拍
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 34		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)				
大分類病名	7	心室頻拍		細分類病名	11	9及び10に掲げるもののほか、心室頻拍			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名					
				および					
				所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	8 心房粗動	細分類病名	12	心房粗動	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	9 心房細動	細分類病名	13	心房細動	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 46		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	9	心房細動		細分類病名	13	心房細動			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名					
				および					
				所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	10 心室細動	細分類病名	14 心室細動
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		30		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		10 心室細動		細分類病名		14	心室細動		
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。									
医療機関名 および 所在地									
平成	年	月	日	医師名	科	印			
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	11 QT延長症候群	細分類病名	15 QT延長症候群
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 14		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	11	QT延長症候群		細分類病名	15	QT延長症候群													
5. 今後の療法方針																			
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	12 肥大型心筋症	細分類病名	16 肥大型心筋症		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 87		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	12	肥大型心筋症		細分類病名	16	肥大型心筋症			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	13 不整脈源性右室心筋症	細分類病名	17 不整脈源性右室心筋症
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		90		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		13 不整脈源性右室心筋症		細分類病名		17	不整脈源性右室心筋症		
5. 今後の療法方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労		1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()							
現状評価		一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明							
治療見込期間		入院		年 月 日 から		年 月 日 まで			
		通院		年 月 日 から		年 月 日 まで		(月 回)	
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地			科 印		
平成 年 月 日				医師名					
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	14 心筋緻密化障害	細分類病名	18 心筋緻密化障害		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		29		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	14	心筋緻密化障害			細分類病名	18	心筋緻密化障害														
5. 今後の療法方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																					
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																				
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	15 拡張型心筋症	細分類病名	19 拡張型心筋症		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		4	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書			2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	15	拡張型心筋症			細分類病名	19	拡張型心筋症														
5. 今後の療方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																					
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																				
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	16 拘束型心筋症	細分類病名	20 拘束型心筋症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		20	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	16	拘束型心筋症		細分類病名	20	拘束型心筋症														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名		科		印												
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	17 心室瘤	細分類病名	21	心室瘤	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		35	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	17	心室瘤		細分類病名	21	心室瘤														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名		科		印												
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	18 心内膜線維硬性症	細分類病名	22	心内膜線維硬性症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 45		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	18	心内膜線維弾性症		細分類病名	22	心内膜線維弾性症			
5. 今後の療法方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	19 心臓腫瘍	細分類病名	23	心臓腫瘍	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 36		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	19	心臓腫瘍		細分類病名	23	心臓腫瘍													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	20 慢性心筋炎	細分類病名	24 慢性心筋炎
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類[※] (I ・ II ・ III ・ IV)
[※]小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり[※])
[※]ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
[※]不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり[※])
[※]ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 91		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	20	慢性心筋炎		細分類病名	24	慢性心筋炎			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	21 慢性心膜炎	細分類病名	25 慢性心膜炎
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 92		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	21	慢性心膜炎		細分類病名	25	慢性心膜炎			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	22 収縮性心膜炎	細分類病名	26 収縮性心膜炎		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		25		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	22	収縮性心膜炎			細分類病名	26	収縮性心膜炎														
5. 今後の療方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる) 1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																					
就学・就労																					
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	23 先天性心膜欠損症	細分類病名	27	先天性心膜欠損症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 53		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	23	先天性心膜欠損症		細分類病名	27	先天性心膜欠損症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	24 冠動脈起始異常	細分類病名	28 左冠動脈肺動脈起始症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 10		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	24	冠動脈起始異常		細分類病名	28	左冠動脈肺動脈起始症													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	24 冠動脈起始異常	細分類病名	29 右冠動脈肺動脈起始症		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 11		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	24	冠動脈起始異常		細分類病名	29	右冠動脈肺動脈起始症													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	24 冠動脈起始異常	細分類病名	30 28及び29に掲げるもののほか、冠動脈起始異常
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 12		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名		男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)				
大分類病名	24	冠動脈起始異常		細分類病名	30	28及び29に掲げるもののほか、冠動脈起始異常			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	25 川崎病性冠動脈瘤	細分類病名	31 川崎病性冠動脈瘤		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		5	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	25	川崎病性冠動脈瘤		細分類病名	31	川崎病性冠動脈瘤														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名	科	印														
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	26 冠動脈狭窄症 (川崎病によるものを除く。)	細分類病名	32 冠動脈狭窄症 (川崎病によるものを除く。)
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		6	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	26	冠動脈狭窄症 (川崎病によるものを除く。)			細分類病名	32	冠動脈狭窄症 (川崎病によるものを除く。)													
5. 今後の療方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名		科		印												
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	27 虚血性心疾患	細分類病名	33 狭心症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には()内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 15		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	27	虚血性心疾患		細分類病名	33	狭心症													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	27 虚血性心疾患	細分類病名	34 心筋梗塞		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には()内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 16		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	27	虚血性心疾患		細分類病名	34	心筋梗塞			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名					
				および					
				所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	28 左心低形成症候群	細分類病名	35	左心低形成症候群	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		22	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2		
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	28	左心低形成症候群		細分類病名	35	左心低形成症候群			
5. 今後の療法方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
<p>上記の通り診断します。</p> <p style="text-align: center;">医療機関名 および 所在地</p> <p>平成 年 月 日 医師名 科 印</p> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	29 単心室症	細分類病名	36 単心室症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 68		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	29	単心室症		細分類病名	36	単心室症													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	30 三尖弁閉鎖症	細分類病名	37 三尖弁閉鎖症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)		
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)
大分類病名	30 三尖弁閉鎖症	細分類病名	37	三尖弁閉鎖症

5. 今後の療法方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)

就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明
治療見込期間	入院 年 月 日 から 年 月 日 まで 通院 年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)

上記の通り診断します。

医療機関名
および
所在地

平成 年 月 日 医師名 科 印

小児慢性特定疾病指定医番号

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	31 肺動脈閉鎖症	細分類病名	38 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

診断の根拠となった
 主な検査等の結果

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

該当する状態を選択し、項目に○を記入

手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能

カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 83		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	31	肺動脈閉鎖症		細分類病名	38	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	31 肺動脈閉鎖症	細分類病名	39 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

診断の根拠となった
 主な検査等の結果

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

該当する状態を選択し、項目に○を記入

手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能

カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

現在の治療

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 84		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	31	肺動脈閉鎖症		細分類病名	39	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	32 ファロー (Fallot) 四徴症	細分類病名	40	ファロー (Fallot) 四徴症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)		
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)
大分類病名	32 ファロー (Fallot) 四徴症	細分類病名	40	ファロー (Fallot) 四徴症

5. 今後の療法方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)	
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明
治療見込期間	入院 年 月 日 から 年 月 日 まで
	通院 年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)
上記の通り診断します。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 医療機関名 および 所在地 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 平成 年 月 日 医師名 科 印 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 小児慢性特定疾病指定医番号 </div>	

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	33 両大血管右室起始症	細分類病名	41 タウジツヒ・ピング (Taussig-Bing) 奇形		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 95		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	33	両大血管右室起始症		細分類病名	41	タウジヒ・ビング (Taussig-Bing) 奇形													
5. 今後の療法方針																			
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	33 両大血管右室起始症	細分類病名	42 両大血管右室起始症 (タウジヒ・ピング (Taussig-Bing) 奇形を除く。)
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 96		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	33	両大血管右室起始症		細分類病名	42	両大血管右室起始症 (タウジツヒ・ピング (Taussig-Bing) 奇形)													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	34 両大血管左室起始症	細分類病名	43 両大血管左室起始症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 97		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	34	両大血管左室起始症		細分類病名	43	両大血管左室起始症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	35 完全大血管転位症	細分類病名	44 完全大血管転位症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		8		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		35 完全大血管転位症		細分類病名		44	完全大血管転位症		
5. 今後の療法方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
<p>上記の通り診断します。</p> <p style="text-align: center;">医療機関名 および 所在地</p> <p>平成 年 月 日 医師名 科 印</p> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	36 先天性修正大血管転位症	細分類病名	45	先天性修正大血管転位症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		52		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	36	先天性修正大血管転位症			細分類病名	45	先天性修正大血管転位症														
5. 今後の療法方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																					
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																				
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	37 エプスタイン (Ebstein) 病	細分類病名	46	エプスタイン (Ebstein) 病	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		3	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	37	エプスタイン (Ebstein) 病		細分類病名	46	エプスタイン (Ebstein) 病														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名	科	印														
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	38 総動脈幹遺残症	細分類病名	47 総動脈幹遺残症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった
 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 54		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	38	総動脈幹遺残症		細分類病名	47	総動脈幹遺残症			
5. 今後の療法方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
<p>上記の通り診断します。</p> <p style="text-align: center;">医療機関名 および 所在地</p> <p>平成 年 月 日 医師名 科 印</p> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	39 大動脈肺動脈窓	細分類病名	48 大動脈肺動脈窓		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 63		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	39	大動脈肺動脈窓		細分類病名	48	大動脈肺動脈窓													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	40 三心房心	細分類病名	49 三心房心		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		23	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	40	三心房心		細分類病名	49	三心房心														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名		科		印												
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	41 動脈管開存症	細分類病名	50 動脈管開存症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった
 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 73		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	41	動脈管開存症		細分類病名	50	動脈管開存症			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	42 心房中隔欠損症	細分類病名	51 単心房症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		49		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	42	心房中隔欠損症			細分類病名	51	単心房症														
5. 今後の療方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																					
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																				
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	42 心房中隔欠損症	細分類病名	52 二次孔型心房中隔欠損症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類[※] (I ・ II ・ III ・ IV)
 ※小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった検査結果 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり[※])
 ※ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
 ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり[※])
 ※ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		50		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		42 心房中隔欠損症		細分類病名		52	二次孔型心房中隔欠損症		
5. 今後の療法方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労		1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()							
現状評価		一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明							
治療見込期間		入院		年 月 日 から		年 月 日 まで			
		通院		年 月 日 から		年 月 日 まで		(月 回)	
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地			科 印		
平成 年 月 日				医師名					
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	42 心房中隔欠損症	細分類病名	53 静脈洞型心房中隔欠損症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 48		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	42	心房中隔欠損症		細分類病名	53	静脈洞型心房中隔欠損症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	42 心房中隔欠損症	細分類病名	54 不完全型房室中隔欠損症 (不完全型心内膜床欠損症)
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		51	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	42	心房中隔欠損症		細分類病名	54	不完全型房室中隔欠損症 (不完全型心内膜床欠損症)														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年 月 日 から		年 月 日 まで																
	通院	年 月 日 から		年 月 日 まで		(月 回)														
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名	科	印														
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	43 完全型房室中隔欠損症	細分類病名	55 完全型房室中隔欠損症 (完全型心内膜床欠損症)		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		7	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2																	
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																					
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)																		
大分類病名	43	完全型房室中隔欠損症		細分類病名	55	完全型房室中隔欠損症 (完全型心内膜床欠損症)																		
5. 今後の療法方針																								
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																								
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																							
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明																							
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで															
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)															
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>										医療機関名				および				所在地			平成 年 月 日	医師名		科 印
	医療機関名																							
	および																							
	所在地																							
平成 年 月 日	医師名		科 印																					

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	44 心室中隔欠損症	細分類病名	56 心室中隔欠損症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 31		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	44	心室中隔欠損症		細分類病名	56	心室中隔欠損症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	45 肺静脈還流異常症	細分類病名	57	総肺静脈還流異常症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 76		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	45	肺静脈還流異常症		細分類病名	57	総肺静脈還流異常症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名					
				および					
				所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	45 肺静脈還流異常症	細分類病名	58 部分肺静脈還流異常症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 77		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	45	肺静脈還流異常症		細分類病名	58	部分肺静脈還流異常症													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	46 肺静脈狭窄症	細分類病名	59 肺静脈狭窄症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 78		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	46	肺静脈狭窄症		細分類病名	59	肺静脈狭窄症													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	47 左室右房交通症	細分類病名	60 左室右房交通症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 21		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	平成	年	月	日 (満 歳)												
大分類病名	47 左室右房交通症	細分類病名	60	左室右房交通症															
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	48 右室二腔症	細分類病名	61	右室二腔症	
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		2	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2																	
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																					
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)																		
大分類病名	48	右室二腔症		細分類病名	61	右室二腔症																		
5. 今後の療方針																								
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																								
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																							
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明																							
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで															
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)															
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>										医療機関名				および				所在地			平成 年 月 日	医師名		科 印
	医療機関名																							
	および																							
	所在地																							
平成 年 月 日	医師名		科 印																					

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	49 肺動脈弁下狭窄症	細分類病名	62 肺動脈弁下狭窄症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 85		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	49	肺動脈弁下狭窄症		細分類病名	62	肺動脈弁下狭窄症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名			科	印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	50 大動脈弁下狭窄症	細分類病名	63 大動脈弁下狭窄症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 64		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)				
大分類病名	50	大動脈弁下狭窄症		細分類病名	63	大動脈弁下狭窄症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科	印		
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	51 肺動脈狭窄症	細分類病名	64 肺動脈弁上狭窄症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 79		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	51	肺動脈狭窄症		細分類病名	64	肺動脈弁上狭窄症													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる) 1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
就学・就労																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	51 肺動脈狭窄症	細分類病名	65 末梢性肺動脈狭窄症		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		80	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2																	
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																					
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)																		
大分類病名	51	肺動脈狭窄症		細分類病名	65	末梢性肺動脈狭窄症																		
5. 今後の療方針																								
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																								
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																							
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																							
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで															
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)															
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>										医療機関名				および				所在地			平成 年 月 日	医師名		科 印
	医療機関名																							
	および																							
	所在地																							
平成 年 月 日	医師名		科 印																					

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	52 肺動脈弁欠損	細分類病名	66 肺動脈弁欠損
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 86		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	52	肺動脈弁欠損		細分類病名	66	肺動脈弁欠損			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	53 肺動脈上行大動脈起始症	細分類病名	67	肺動脈上行大動脈起始症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [※] (I ・ II ・ III ・ IV) ※小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [※]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上：三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上：肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [※]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		81		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)															
大分類病名	53	肺動脈上行大動脈起始症			細分類病名	67	肺動脈上行大動脈起始症														
5. 今後の療法方針																					
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																					
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																				
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																				
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで												
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)												
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>											医療機関名			および			所在地		平成 年 月 日	医師名	科 印
	医療機関名																				
	および																				
	所在地																				
平成 年 月 日	医師名	科 印																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	54 一側肺動脈欠損	細分類病名	68 一側肺動脈欠損		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状
該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった
新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療
該当する状態を選択し、項目に○を記入
手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
() 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
() 根治術不能
カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)		
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)
大分類病名	54 一側肺動脈欠損	細分類病名	68	一側肺動脈欠損

5. 今後の療法方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)

就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明
治療見込期間	入院 年 月 日 から 年 月 日 まで 通院 年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)

上記の通り診断します。

医療機関名
および
所在地

平成 年 月 日 医師名 科 印

小児慢性特定疾病指定医番号

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	55 大動脈狭窄症	細分類病名	69 大動脈縮窄症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		59		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		55 大動脈狭窄症		細分類病名		69 大動脈縮窄症			
5. 今後の療方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労		1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()							
現状評価		一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明							
治療見込期間		入院		年 月 日 から		年 月 日 まで			
		通院		年 月 日 から		年 月 日 まで		(月 回)	
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成 年 月 日				医師名 科 印					
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	55 大動脈狭窄症	細分類病名	70 大動脈縮窄複合
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		60	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	55	大動脈狭窄症		細分類病名	70	大動脈縮窄複合														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名	科	印														
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	55 大動脈狭窄症	細分類病名	71 大動脈弁上狭窄症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 61		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	55	大動脈狭窄症		細分類病名	71	大動脈弁上狭窄症			
5. 今後の療法方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	55 大動脈狭窄症	細分類病名	72	ウィリアムズ (Williams) 症候群	
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)		
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)
大分類病名	55 大動脈狭窄症	細分類病名	72	ウィリアムズ (Williams) 症候群

5. 今後の療方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)

就学・就労 1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部)
4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む)
7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()

現状評価 一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能
小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明

治療見込期間 入院 年 月 日 から 年 月 日 まで
通院 年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)

上記の通り診断します。 医療機関名
および
所在地
平成 年 月 日 医師名 科 印
小児慢性特定疾病指定医番号

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	55 大動脈狭窄症	細分類病名	73 69から72までに掲げるもののほか、大動脈狭窄症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)		
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)
大分類病名	55 大動脈狭窄症	細分類病名	73	69から72までに掲げるもののほか、大動脈狭窄症

5. 今後の療方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()			
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明			
治療見込期間	入院	年	月	日 から 年 月 日 まで
	通院	年	月	日 から 年 月 日 まで (月 回)
上記の通り診断します。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 医療機関名 および 所在地 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 平成 年 月 日 医師名 科 印 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 小児慢性特定疾病指定医番号 </div>				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	56 大動脈弓閉塞症	細分類病名	74 大動脈弓離断複合
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 57		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	56	大動脈弓閉塞症		細分類病名	74	大動脈弓離断複合			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	56 大動脈弓閉塞症	細分類病名	75 大動脈弓閉塞症 (大動脈弓離断複合を除く。)
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 56		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	56	大動脈弓閉塞症		細分類病名	75	大動脈弓閉塞症 (大動脈弓離断複合を除く。)			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	57 血管輪	細分類病名	76 重複大動脈弓症
副病名1		副病名2	

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		18	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	57	血管輪		細分類病名	76	重複大動脈弓症														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名	科	印														
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	57 血管輪	細分類病名	77 左肺動脈右肺動脈起始症
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 17		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	57	血管輪		細分類病名	77	左肺動脈右肺動脈起始症			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名					
				および					
				所在地					
平成	年	月	日	医師名		科			
				印					
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	57 血管輪	細分類病名	78	76及び77に掲げるもののほか、血管輪	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 19		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	57	血管輪		細分類病名	78	76及び77に掲げるもののほか、血管輪													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	58 大動脈瘤	細分類病名	79	バルサルバ (Valsalva) 洞動脈瘤	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった
 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 66		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	58	大動脈瘤		細分類病名	79	バルサルバ (Valsalva) 洞動脈瘤													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)	
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	58 大動脈瘤	細分類病名	80 大動脈瘤 (バルサルバ (Valsalva) 洞動脈瘤を除く。)
副病名1		副病名2	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		65	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	58	大動脈瘤		細分類病名	80	大動脈瘤 (バルサルバ (Valsalva) 洞動脈瘤を除く。)														
5. 今後の療方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名		科		印												
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	59 動静脈瘻	細分類病名	81	肺動静脈瘻	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		70		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		59 動静脈瘻		細分類病名		81	肺動静脈瘻		
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。									
医療機関名 および 所在地									
平成	年	月	日	医師名	科	印			
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	59 動静脈瘻	細分類病名	82	冠動脈瘻	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 69		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	59	動静脈瘻		細分類病名	82	冠動脈瘻			
5. 今後の療方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	59 動静脈瘻	細分類病名	83	81及び82に掲げるもののほか、動静脈瘻	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)		
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)
大分類病名	59 動静脈瘻	細分類病名	83	81及び82に掲げるもののほか、動静脈瘻

5. 今後の療法方針

学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)	
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明
治療見込期間	入院 年 月 日 から 年 月 日 まで
	通院 年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)

上記の通り診断します。		医療機関名 および 所在地
平成 年 月 日	医師名	科 印
小児慢性特定疾病指定医番号		

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	60 肺動脈性肺高血圧症	細分類病名	84	肺動脈性肺高血圧症	
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) ※不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) ※ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号		82	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2																	
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																					
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)																		
大分類病名	60	肺動脈性肺高血圧症		細分類病名	84	肺動脈性肺高血圧症																		
5. 今後の療法方針																								
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																								
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																							
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																							
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで															
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)															
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成 年 月 日</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医師名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">科 印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>										医療機関名				および				所在地			平成 年 月 日	医師名		科 印
	医療機関名																							
	および																							
	所在地																							
平成 年 月 日	医師名		科 印																					

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	61 慢性肺性心	細分類病名	85 慢性肺性心		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 93		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	61	慢性肺性心		細分類病名	85	慢性肺性心			
5. 今後の療方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。 <p style="text-align: center;">医療機関名 および 所在地</p> <p>平成 年 月 日 医師名 科 印</p> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	86 三尖弁狭窄症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 37		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	62	心臓弁膜症		細分類病名	86	三尖弁狭窄症													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	87	三尖弁閉鎖不全症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		38	慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																	
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	62	心臓弁膜症		細分類病名	87	三尖弁閉鎖不全症														
5. 今後の療法方針																				
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																				
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																			
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																			
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで											
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)											
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																			
	および																			
	所在地																			
平成	年	月	日	医師名	科	印														
小児慢性特定疾病指定医番号																				

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	88 僧帽弁狭窄症		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 39		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	62	心臓弁膜症		細分類病名	88	僧帽弁狭窄症			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	89	僧帽弁閉鎖不全症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 40		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	62	心臓弁膜症		細分類病名	89	僧帽弁閉鎖不全症			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	90 肺動脈弁狭窄症		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 43		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	62	心臓弁膜症		細分類病名	90	肺動脈弁狭窄症			
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	91 肺動脈弁閉鎖不全症		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	--

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 44		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	62	心臓弁膜症		細分類病名	91	肺動脈弁閉鎖不全症			
5. 今後の療法方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	92	大動脈弁狭窄症	
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		41		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		62 心臓弁膜症		細分類病名		92	大動脈弁狭窄症		
5. 今後の療方針									
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。									
医療機関名 および 所在地									
平成	年	月	日	医師名	科	印			
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	62 心臓弁膜症	細分類病名	93 大動脈弁閉鎖不全症		
副病名1		副病名2			

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

告示番号 42		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)														
大分類病名	62	心臓弁膜症		細分類病名	93	大動脈弁閉鎖不全症													
5. 今後の療方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	63 僧帽弁弁上輪	細分類病名	94 僧帽弁弁上輪		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

診断の根拠となった
 主な検査等の結果

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上:三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上:肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・
 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)

4. 経過

該当する状態を選択し、項目に○を記入

手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能

カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)

現在の治療

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 55		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2													
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)																
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)													
大分類病名	63	僧帽弁弁上輪		細分類病名	94	僧帽弁弁上輪													
5. 今後の療法方針																			
学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)																			
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()																		
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明																		
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで										
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)										
上記の通り診断します。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">医療機関名</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">および</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									医療機関名				および				所在地		
	医療機関名																		
	および																		
	所在地																		
平成	年	月	日	医師名	科	印													
小児慢性特定疾病指定医番号																			

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	64 内臓錯位症候群	細分類病名	95 無脾症候群		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状 該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載
 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり)
 NYHA分類^{*} (I ・ II ・ III ・ IV)
^{*}小学生以上の場合に記載
 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・
 βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())

2. 検査所見

診断の根拠となった検査等の結果 新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載
 検査年月日 (年 月 日)

3. その他の所見

該当する項目に○を記入

1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり)
 ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり)
 ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり)
 ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり)
 ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:)
 ⑧ 不整脈 (なし ・ あり)
^{*}不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック)
 ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり)
 ⑩ その他特記すべき所見

2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり^{*})
^{*}ありの場合は以下を記載
 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん)
 b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり)
 c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり)
 d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり)
 e. 運動麻痺 (なし ・ あり)
 f. 症候性てんかん (なし ・ あり)
 g. その他 (なし ・ あり → 所見:)

4. 経過

現在の治療 該当する状態を選択し、項目に○を記入
手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり)
 () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:) ・ 二心室修復術)
 () 根治術不能
カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)

過去の主な治療・検査など

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号 75		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2			
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)						
患者	ふりがな 氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)			
大分類病名	64	内臓錯位症候群		細分類病名	95	無脾症候群			
5. 今後の療方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒・寛解・改善・不変・再発・悪化・死亡・判定不能 小児慢性特定疾病重症患者認定基準に該当 : しない・する・不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない・する・不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
上記の通り診断します。				医療機関名 および 所在地					
平成	年	月	日	医師名		科		印	
小児慢性特定疾病指定医番号									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)			
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g	出生週数	在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg	母の生年月日	昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日		
大分類病名	64 内臓錯位症候群	細分類病名	96 多脾症候群		
副病名1		副病名2			

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には () 内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室 - 肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室 - 大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率 :) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見 :)
-------------	---

4. 経過

現在の治療	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 () 未実施 (不要 ・ 経過により必要 ・ 予定あり) () 実施済 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式 :) ・ 二心室修復術) () 根治術不能 カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式 :)
過去の主な治療・検査など	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
 ※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

告示番号		74		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)					
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)		
大分類病名		64 内臓錯位症候群		細分類病名		96	多脾症候群		
5. 今後の療方針									
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>									
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級・通級・特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部・専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む)・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()								
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明								
治療見込期間	入院	年	月	日	から	年	月	日	まで
	通院	年	月	日	から	年	月	日	まで (月 回)
<p>上記の通り診断します。</p> <p style="text-align: center;">医療機関名 および 所在地</p> <p>平成 年 月 日 医師名 科 印</p> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>									

受給者番号 ()		新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地:)	
患者	ふりがな 氏名	男・女	生年月日 平成 年 月 日 (満 歳)
出生都道府県 ^{※1}		出生体重	g 出生週数 在胎 週
現在の身長 ^{※2}	cm	現在の体重 ^{※2}	kg 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日
発病	年 月 頃	初診日	年 月 日
大分類病名	65 フォンタン (Fontan) 術後症候群	細分類病名	97 フォンタン (Fontan) 術後症候群
副病名1		副病名2	
副病名3	副病名にフォンタン手術の適応となった元の病名を記載すること		

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1. 臨床所見

現在の症状	該当するものに○をつけ、必要な場合には()内に記載 チアノーゼ (なし ・ あり) 濃厚なケア、治療、観察の必要性 (なし ・ あり) NYHA分類 [*] (I ・ II ・ III ・ IV) [*] 小学生以上の場合に記載 現在の治療 (なし ・ 強心薬 ・ 利尿薬 ・ 抗不整脈薬 ・ 抗血小板薬 ・ 抗凝固薬 ・ 末梢血管拡張薬 ・ 肺血管拡張薬 ・ βブロッカー ・ 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ その他 ())
-------	--

2. 検査所見

診断の根拠となった 主な検査等の結果	新規の場合は診断の根拠となった検査結果を記載。継続の場合は最新の検査結果を記載 検査年月日 (年 月 日)
-----------------------	--

3. その他の所見

その他の現在の所見など	該当する項目に○を記入 1. 心臓の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 ① 肺動脈狭窄 (右室-肺動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ② 大動脈狭窄 (左室-大動脈圧較差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ③ 大動脈縮窄 (圧差 20mmHg以上) (なし ・ あり) ④ 房室弁逆流 (2度以上: 三尖弁、僧帽弁、共通房室弁) (なし ・ あり) ⑤ 半月弁逆流 (2度以上: 肺動脈弁、大動脈弁) (なし ・ あり) ⑥ 肺高血圧症 (収縮期血圧 40mmHg以上または平均圧 25mmHg以上) (なし ・ あり) ⑦ 心筋障害 左室/体心室駆出率 0.6以下 (なし ・ あり → 駆出率:) ⑧ 不整脈 (なし ・ あり) [*] 不整脈ありの場合 → (心室期外収縮 (多源性なし ・ 多源性あり) ・ 上室頻拍 ・ 心室頻拍 ・ 心房粗細動 ・ 高度房室ブロック (Mobitz II または完全房室ブロック) ・ 左脚ブロック) ⑨ 心胸郭比 60%以上 (なし ・ あり) ⑩ その他特記すべき所見 2. 心臓以外の術後後遺症、合併症または続発症 (なし ・ あり [*]) [*] ありの場合は以下を記載 a. 慢性肝障害 (なし ・ あり → 肝線維症 ・ 肝硬変 ・ 肝がん) b. 蛋白漏出性胃腸症 (血清アルブミン値 3g/dL未満) (なし ・ あり) c. 慢性腎臓病 (腎機能低下を認めるもの) (なし ・ あり) d. 精神発達遅滞 (IQ70以下) (なし ・ あり) e. 運動麻痺 (なし ・ あり) f. 症候性てんかん (なし ・ あり) g. その他 (なし ・ あり → 所見:)
-------------	---

4. 経過

過去および現在の 主な治療・検査など	該当する状態を選択し、項目に○を記入 手術 (短絡手術 ・ その他の姑息術 (術式:)) ・ 二心室修復術 ・ その他の手術 ()) カテーテル治療 (なし ・ あり → 術式:)
-----------------------	--

告示番号 89		慢性心疾患		平成 () 年度 小児慢性特定疾病 医療意見書		2/2	
受給者番号 ()			新規登録 ・ 継続 ・ 転入 (転出地 :)				
患者	ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
大分類病名	65	フォンタン (Fontan) 術後症候群		細分類病名	97	フォンタン (Fontan) 術後症候群	
5. 今後の療の方針							
<p>学校生活管理指導表の指導区分 : A B C D E (幼児も同様な基準に準じる)</p>							
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校 (通常学級 ・ 通級 ・ 特別支援学級) 3. 特別支援学校 (小中学部 ・ 専攻科を含む高等部) 4. 高等学校 (専攻科を含む) ・ 高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など 5. 大学 (短期大学を含む) 6. 就労 (就学中の就労も含む) 7. 未就学かつ未就労 8. その他 ()						
現状評価	一つに○印 : 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当 : しない ・ する ・ 不明						
治療見込期間	入院	年 月 日 から 年 月 日 まで					
	通院	年 月 日 から 年 月 日 まで (月 回)					
<p>上記の通り診断します。</p> <p style="text-align: center;">医療機関名 および 所在地</p> <p>平成 年 月 日 医師名 科</p> <p style="text-align: center;">小児慢性特定疾病指定医番号</p>							